

「人」と「まち」をつなぐ

えびの

Ebino city Public relations

広 報

11

2014
NOV
vol.577



コミュニティバス実証実験

【特集】実証実験運行の結果を公表します



今月の掲載記事

予算の執行状況を公表します
えびの市市民表彰者紹介
教育・保育施設利用には申請が必要です
CIVIC NEWS
まちのわだい
Face 人 奥原 勁士郎さん
うまかもん「酢豚」

実証実験運行の結果を公表します

コミュニティバス実証実験

市では、平成25年10月から平成26年9月までの1年間、コミュニティバスの実証実験運行を行いました。その結果を公表します。



●コミュニティバス実証実験運行路線図



西部線・郊外線（東川北線、昌明寺線、西内縦線）

【月別乗車実績】

	平成 25 年度						平成 26 年度					
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
西部線	65	96	85	95	92	130	136	114	137	169	156	148
東川北線	0	1	0	5	3	2	3	0	1	5	1	3
昌明寺線	54	50	43	44	42	43	48	44	49	54	46	45
西内縦線	33	34	32	19	19	18	20	32	27	23	24	31
郊外線合計	87	85	75	68	64	63	71	76	77	82	71	79
総計	152	181	160	163	156	193	207	190	214	251	227	227

●月別の利用状況
西部線は、運行本数、バス停などが郊外線と比べて多かったため、利用者数も多くなりました。しかし、1便あたりで換算すると、平均で1人が乗車している状態という結果になりました。
郊外線では、昌明寺線の利用者が最も多く、東川北線の利用者が最も少なくなりました。

【路線別乗車実績】

【西部線】

利用人数（延べ）	1,423人
1日平均（年計）	5.9人
1便あたり（年計）	1.0人

【東川北線】

利用人数（延べ）	24人
1日平均（年計）	0.5人
1便あたり（年計）	0.1人

【昌明寺線】

利用人数（延べ）	562人
1日平均（年計）	11.0人
1便あたり（年計）	2.8人

【西内縦線】

利用人数（延べ）	312人
1日平均（年計）	6.2人
1便あたり（年計）	1.6人

市では、平成25年10月から、平成26年9月までの1年間、市内西部地域で、コミュニティバスの実証実験運行を行いました。

実証実験運行を行ったのは、えびの駅を起点として、京町温泉駅を経由し、えびの駅に戻ってくる西部線と東川北地区、昌明寺地区、西内縦地区をそれぞれの起点とする3つの郊外線（東川北線、昌明寺線、西内縦線）です。

この実証実験運行は、交通空白地での移動手段を検討するため、コミュニティバスを走らせ、西部地域での利用状況や問題点、課題などを明らかにするために行ったものです。

平成24年度に東部地域で行った実証実験運行では、期間が3か月間と短く、郊外線は予約が必要だったため、利用者が予想以上に少なく、十分なデータを得ることができませんでした。そのことを踏まえ、今回の実証実験運行では、期間を1年間としました。

運賃は、西部線、郊外線とも、どこで乗降しても1回大人200円に設定しました。前回は、予約をしなければ利用できなかった郊外線を、予約なしで乗車できるようにしました。

4月からは、利用者の意見や要望を受け、ダイヤの改正、バス停の追加や位置の変更を行いました。

8月から9月までの2か月間は、西部線の一部区間でフリー乗降の実証実験も行いました。これは、利用者からの、「バス停が遠い」、「荷物を持って

移動するのが大変」などの意見を考慮し、安全が確保できる一部区間で自由に乗降できるようにしたものです。

1年間の運賃収入は45万6600円で、実証実験運行にかかった運行委託料は、運賃収入を差し引いた626万4354円でした。

今回の実証実験運行では、乗降者数の調査や利用者アンケートを実施。西部地域での運行方法、運賃、運行回数、運行時間、ルート、バス停の位置などの問題点、課題を抽出しました。

少なかった利用者

昨年10月から平成26年9月までの1年間の利用状況は、西部線の1便あたりの利用者数が、平均1.0人でした。東川北線は、1便あたり平均0.1人。昌明寺線は、1便あたり平均2.8人。西内縦線は、1便あたり平均1.6人でした。

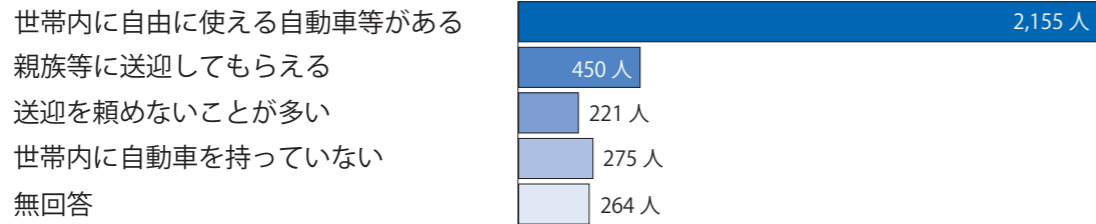
予約なしでの運行としたため、路線によっては利用者ゼロでの運行もありました。

また、フリー乗降実証実験では、区内での乗車はありませんでしたが、下車はありました。

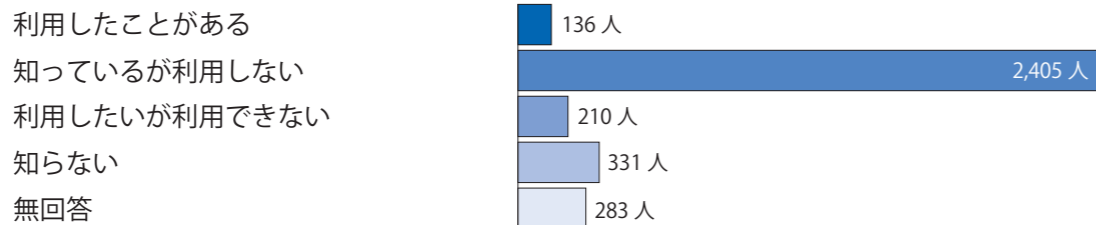
利用者へのアンケートでは、運行本数や運行時間について多くの人が満足または普通と回答しました。不満に感じている人の意見としては、

- ・バス停まで遠い
- ・荷物がある時は、帰りが少しきつい

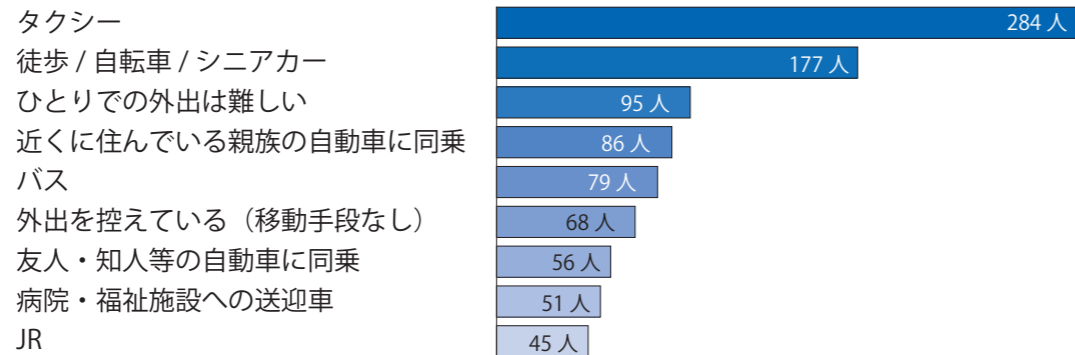
問 世帯内の自動車等の使用状況 (3,365人から回答)



問 コミュニティバスの利用状況 (3,365人から回答)



問 普段の移動手段は何ですか？ (自由に使える自動車等のない496人から複数回答)



問 その他意見等があったら聞かせてください

飯野方面で再び運行してほしい
 コミュニティバスの午後の本数が少ない
 家の近くにバス停 (停留所) を作ってほしい
 自宅の近くにバス停があり、病院にもバス停があれば利用したい
 住んでいる自治会にも運行してほしい
 運行本数を増やしてほしい
 80歳以上は無料にしてほしい
 家族が車を持っていても、仕事の都合などで頼めないことが多い
 雨天時や荷物がある時などは、タクシー券に助けられています
 バスをやめて福祉タクシー券の発行枚数を増やしてほしい
 通院、買い物などにはタクシーのほうが便利



・バス停を追加してほしい
 ・バス停で雨宿りなどが出来ない
 ・時刻表がわかりにくい
 などの意見が寄せられました。

個別の意見では、
 ・地域によってコミュニティバスの利便性が違う
 ・乗降できる場所がわからないため、利用しづらい
 ・荷物がたくさんある時に、家の前まで送ってほしい
 ・郊外線は、午後の便がほとんどなく不便
 ・タクシー券の配付条件を緩和してほしい
 ・えびの市の土地柄、コミュニティバスよりもタクシー券を充実させたほうがよい
 ・福祉タクシーの料金を下げて、何回でも使えるようにしてほしい
 などの意見が寄せられました。

より適した公共交通体系へ
 市では、平成26年6月に「公共交通に関する調査」も併せて行いました。これは、市民の外出時の交通手段等を調査し、えびの市に、より適した公共交通体系のあり方を検討することを目的に行ったものです。

調査は、平成26年4月1日現在で65歳以上の人がいる世帯を対象に、アンケート形式で行いました。アンケート用紙を、市内の5417世帯に配布しました。そのうち、回答を得たのは、2501世帯 (回収率：46・2%) でした。

調査アンケートでは、運転免許の有無、外出時の移動手段、コミュニティバスの利用状況、福祉タクシーの利用状況などを調査しました。

免許を持っていない、返納する考えのある人が全回答者の33・1%を占めています。「送迎を頼めないことが多い」、「自身を含め、世帯に自動車等がない」と回答した人が、全回答者の14・8%でした。

コミュニティバスを利用しない (できない) 理由では、全回答者の73・9%の人が、「自由に外出できる」と回答しています。

公共交通体系のあり方を検討

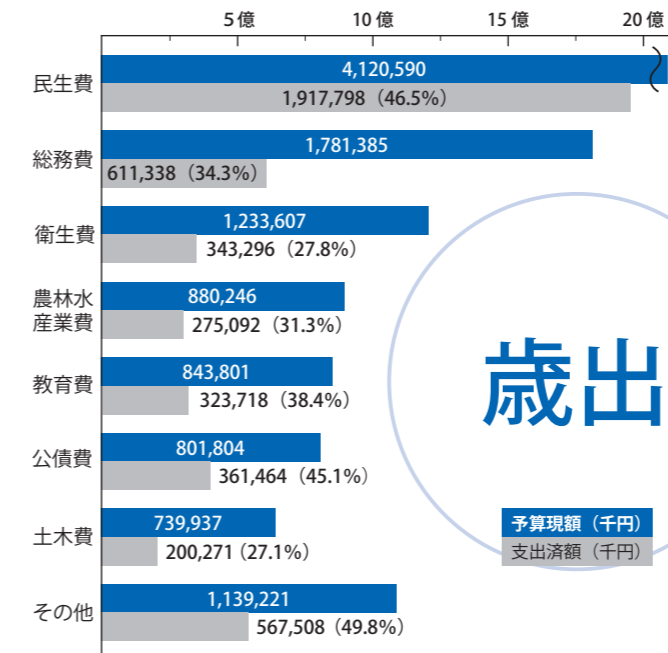
今後、市では、平成24年度に行った実証実験運行の結果と、今回の実証実験運行や公共交通に関する調査で明らかとなった課題を、「えびの市地域公共交通確保維持協議会」で検証・検討していきます。検討結果等をもとに、市民や議会の意見をもらいながら、えびの市により適した公共交通体系のあり方を示した公共交通に関する計画を策定していきます。

☎ 企画課政策係
 35・1111 (内線322)

一般会計

予算の執行状況を公表します

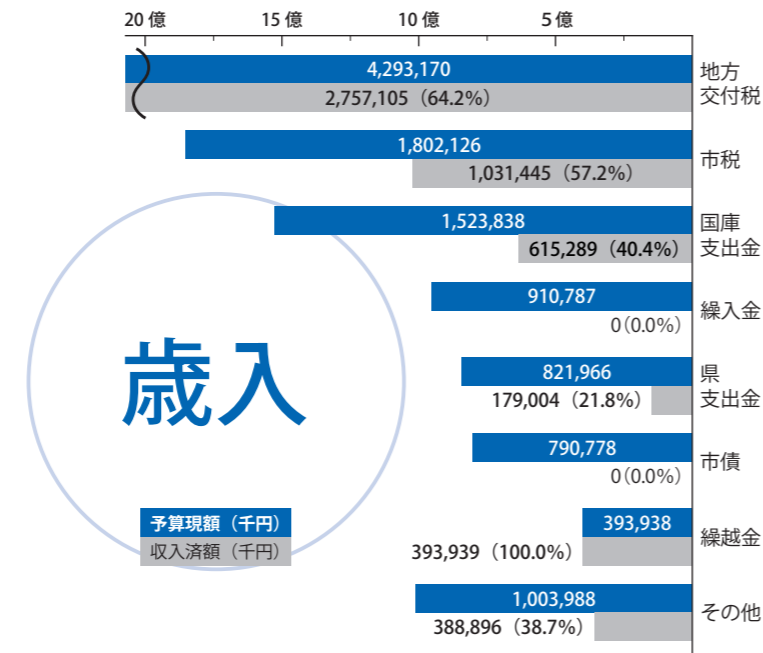
平成26年度のえびの市の一般会計予算額（平成26年9月30日現在）は、歳入・歳出それぞれ114億9502万7千円で、このほかに平成25年度からの予算の繰越が、4556万4千円あり、合計で115億4059万1千円となっています。
この合計額に対して、平成26年9月30日現在の収入済額は、53億6567万8千円で、収入済率46・5%、支出済額は46億48万5千円で支出済率39・9%となっています。



※グラフは、それぞれ平成25年度からの繰越予算を含めた額です。
※歳出予算の「その他」は、議会費、労働費、商工費、消防費、災害復旧費などです。
※歳入予算の「その他」は、地方譲与税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、諸収入などです。

【市債の状況】 [単位：千円]

区分	借入金残高	前年同期残高
一般会計	6,951,280	7,019,734



【特別会計の予算執行状況】 [単位：千円]

会計	歳入		歳出		
	予算額	収入済額	予算額	支出済額	
国民健康保険特別会計	3,711,237	1,501,638	3,711,237	1,513,866	
介護保険特別会計	保険事業勘定	3,033,214	1,411,294	3,033,214	1,229,735
	介護サービス事業勘定	21,812	9,873	21,812	8,165
後期高齢者医療特別会計	650,621	396,532	650,621	213,247	
合計	7,416,884	3,319,337	7,416,884	2,965,013	

※収入済額を上回る支出部分は、一時運用金（会計間のやりくり）で対応しています。

用語説明

- 一般会計
福祉や教育、公園や道路建設などの市の基本的な事業を行う会計です。市税や地方交付税などを主な財源としています。
- 特別会計
特定の収入を特定の支出に充てて事業を行う会計です。市では、国民健康保険、介護保険などがこれに該当します。
- 地方交付税
地方公共団体が等しくその行うべき事務を遂行できるよう、一定の基準により国から交付されるお金です。
- 国庫支出金
国から地方自治体に交付される補助金や委託金などのことです。
- 市債
市がさまざまな事業を行うとき、長期にわたって借りるお金のことです。
- 公債費
市債を償還するための経費のことです。
- お問い合わせ先
市財政課財政係
☎ 35 - 1111 (内線 381)

水道事業



- ◎水道業務量
(平成26年4月1日～平成26年9月30日)
給水戸数・・・8,677戸
給水人口・・・18,598人
上半期給水量・・・969,652 m³
1日平均給水量・・・5,299 m³
1人1日平均給水量・・・284.9ℓ
普及率・・・93.0%
- ◎借入金残高 10億5,873万7千円
- お問い合わせ先：えびの市水道課経営管理係
☎ 35 - 1111 (内線 291)

【事業収入に関する事項】 [単位：円]

区分	予算額	執行額		収入率 (%)
		上半期	累計	
水道事業収益	357,280,000	154,950,439	154,950,439	43.4
営業収益	328,287,000	154,334,768	154,334,768	47.0
営業外収益	10,732,000	570,841	570,841	5.3
特別利益	18,261,000	44,830	44,830	0.2

収入の営業収益は、水道料金、手数料、水道加入金など。営業外収益は、預金利息、雑収益など

【事業費用に関する事項】 [単位：円]

区分	予算額	執行額		執行率 (%)
		上半期	累計	
水道事業費用	371,432,000	156,372,353	156,372,353	42.1
営業費用	307,072,000	123,140,597	123,140,597	40.1
営業外費用	22,051,000	11,089,180	11,089,180	50.3
特別損失	41,809,000	22,142,576	22,142,576	53.0
予備費	500,000	0	0	0.0

支出の営業費用は、浄水費、配水費、減価償却費など。営業外費用は、企業債の償還利息など

病院事業



- ◎病院業務量
(平成26年4月1日～平成26年9月30日)
病床数・・・50床
入院患者数・・・延べ5,773人
外来患者数・・・延べ16,178人
入院1日平均・・・31.5人
外来1日平均・・・129.4人
- ◎借入金残高 2,687万4千円
- お問い合わせ先：えびの市立病院
☎ 33 - 1023

【事業収入に関する事項】 [単位：円]

区分	予算額	執行額		収入率 (%)
		上半期	累計	
病院事業収益	1,093,853,000	418,084,960	418,084,960	38.2
医業収益	762,747,000	353,439,787	353,439,787	46.3
医業外収益	91,458,000	64,645,173	64,645,173	70.7
特別利益	239,648,000	0	0	0.0

収入の医業収益は、入院収益・外来収益など。医業外収益は、一般会計補助金など。

【事業費用に関する事項】 [単位：円]

区分	予算額	執行額		執行率 (%)
		上半期	累計	
病院事業費用	1,214,789,000	629,993,381	629,993,381	51.9
医業費用	948,767,000	386,089,560	386,089,560	40.7
医業外費用	1,770,000	511,882	511,882	28.9
特別損失	264,052,000	243,391,939	243,391,939	92.2
予備費	200,000	0	0	0.0

支出の医業費用は、給与費、材料代経費等。医業外経費は、企業債の償還利息など。

えびの市発展のために尽力

平成26年度えびの市市民表彰式が11月3日、えびの市文化センターで行われました。

今年度の受章者は、地方自治部門、産業経済部門、教育・芸術・体育・文化部門、公共福祉部門で貢献されてきた5人です。

表彰式では、受章者に村岡市長から賞状と記念品が贈呈されました。村岡市長は、「今後も、えびの市発展のために、ご指導・ご助言をよろしくお願い申し上げます」と式辞を述べました。

受章者を代表して、上谷川敏さんが「表彰を機に、より一層気を引き締め、えびの市発展のために尽力していきます」と謝辞を述べました。

えびの市市民表彰制度は、昭和62年度に「市政功労者表彰」としてスタートしました。

平成26年度の市民表彰では、市民に公募を行い、候補者の中から表彰審議会の審査により、受章者・団体を決定したものです。

岡市企画課秘書係
☎ 35・1111（内線302）

平成27年度から子ども・子育て支援新制度が開始

保育所・幼稚園等の利用には申請が必要です

平成27年度から、幼児期の学校教育や保育、地域の子育て支援を総合的に推進する「子ども・子育て支援新制度」（以下「新制度」）が始まります。

新制度では、保育所（園）や幼稚園等の利用を希望する場合は、教育・保育の必要性の認定が必要です。認定を受ける場合は、支給認定申請兼利用申込書を提出してください。

認定には、保育の必要性の有無と年齢に応じ3つの区分があります。認定された区分で利用できる施設が異なります。

【在園中の子どもがいる場合】

在園中の子どもが、継続して通園する場合も認定の申請が必要です。申請しなかった場合は、退園となります。※この認定で通園中の施設が変更になることはありません。

【利用申込方法】

保育所等の支給認定申請兼利用申込書は、申込書一式を市福祉事務所、飯野真幸出張所、市内各認可保育園で、11月10日（月）から配布しています。なお、入所理由等によつては、別途提出する書類が必要になる場合があります。申込書一式に同封してある「保育所等利用のご案内」を確認してください。

さい。

【受付期間】

12月1日（月）～12月26日（金）※左表の日時で申請に來れない人や新たに利用を希望する人は、市福祉事務所随時、受け付けます。

【受付場所】

左表の施設または市福祉事務所
岡市福祉事務所子育て支援係
☎ 35・1111（内線267・269）

○受け付けを行う保育所等

受付日	受付場所	受付時間
12月8日（月）	真幸保育園	午後3時～午後6時
12月9日（火）	なかよし保育園	
12月10日（水）	加久藤乳児保育園	
12月11日（木）	上江保育園	
12月12日（金）	加久藤保育園	
12月15日（月）	和光保育園	
12月16日（火）	飯野保育園	
12月17日（水）	ふじ幼稚園	

※ふじ幼稚園…幼稚園型認定こども園へ移行予定

※真幸保育園、なかよし保育園…幼保連携型認定こども園へ移行予定

■あなたの子育てを応援

市では、子育ての負担を少しでも軽減できるよう、さまざまな取り組みを行っています。

□一時保育事業

保護者の労働、職業訓練、就学などで断続的に児童を保育することができない場合に一時的に、幼稚園、保育園、認定こども園などが預かります。

【問い合わせ】市福祉事務所子育て支援係 ☎ 35-1111（内線 267・269）

□こんには赤ちゃん事業

保健師、母子保健推進員が乳児のいる全ての家庭を訪問し、健診や赤ちゃん相談などの案内を行います。

【問い合わせ】市福祉事務所子育て支援係 ☎ 35-1111（内線 267・269）

□地域子育て支援センター

子育ての悩みなどが無料で相談できます。プレイルームなどでは、乳幼児と保護者が自由に遊べ、子育ての情報交換などができます。

【開設時間】午前10時～午後4時

【問い合わせ】市地域子育て支援センター（なかよし保育園内）☎ 37-0008

□ファミリー・サポート・センター

子育ての支援をしたい人（おたすけ会員）と子育ての援助を受けたい人（お願い会員）が会員となって、お互いに子育てを助け合う制度です。お願い会員になるためには、入会登録が必要です。登録は無料です。

【問い合わせ】市ファミリーサポートセンター（社会福祉協議会内）☎ 35-3120

□放課後児童クラブ

保護者が就労などで昼間家庭にいない小学生を、放課後に預かっています。入会を希望する場合は申し込みが必要です。

【問い合わせ】市福祉事務所子育て支援係 ☎ 35-1111（内線 267・269）

□子育て悩み相談所

市では、子育てに関する身近な相談員として家庭相談員を2人配置しています。問題を抱えた児童の保護者と直接会って相談に応じるほか、電話でも対応しています。

【受付時間】午前9時～午後4時（祝日を除く平日）

【問い合わせ】市子育て相談専用ダイヤル ☎ 35-0732

○各部門表彰者

地方自治部門



堀ノ内 千秋さん
【えびの市浦・83歳】

【功績】公民館長をはじめ、区長・自治会長を歴任。一人暮らしや高齢者の安全確保を図るための見守り隊の発足や災害時の迅速な対応づくり、ボランティアの組織を立ち上げるなど、地域の安心・安全を守るために尽力された。

公共福祉部門



上谷川 敏さん
【えびの市栗下・90歳】

【功績】社会福祉法人特別養護老人ホームの園長として福祉の向上に努められた。退職後も地域の奉仕活動や高齢者クラブ等の各種役員を歴任されるなど、地域福祉のリーダーとして、福祉の増進に寄与されている。

教育・芸術・体育・文化部門



東蔵 安美さん
【えびの市上江・66歳】

【功績】上江小5・6学年児童に郷土芸能の西上江輪太鼓踊りの指導を行い郷土芸能の継承に尽力。また、上江小5学年児童、上江中1学年生徒に米づくり体験等とおして食の大切さを伝え、地域に貢献できる子どもの育成に貢献されている。

産業経済部門



白川 幸美さん
【えびの市岡松・88歳】

【功績】長年にわたり、農業委員として農業の発展と農業者の地位の向上に尽力された。また、委員会の役員を歴任され、地域のよき相談役として、農地の流動化や担い手への農地集積などをとおして、農業の振興に大きく貢献された。

産業経済部門



明石 堯さん
【えびの市東長江浦・88歳】

【功績】長年にわたり、農業委員として農業の発展と農業者の地位の向上に尽力された。また、この間、小委員長として地域のよき相談役となり、農地の流動化や担い手への農地集積などをとおして、農業の振興に大きく貢献された。



市民表彰を受けられた皆さん

CIVIC NEWS

市政ニュース

気象庁が火口周辺警報を発表 硫黄山周辺約1km内が立入禁止

気象庁は、10月24日、えびの高原の硫黄山周辺で小規模な噴火が起きる可能性があるとして、火口周辺警報（火口周辺危険）を発表しました。同日、市では、情報連絡本部を設置し、噴石等が飛来する恐れのある硫黄山から半径約1kmの範囲を進入禁止とし、一部入山を規制しました。

【県道の通行規制】
小林方面からえびの高原までの宮崎県道1号（小林えびの高原牧園線）は、当分の間通行止めとなります。えびの方面からの県道30号（えびの高原小田線）とえびの高原から霧島方面への県道1号は通行できます。

【登山・池巡りコース】
硫黄山から韓国岳へ登ることはできません。えびの高原ピクニック広場前登山口、大浪池登山口からは登ることができませんが、えびの高原方面への下山はできません。

【正しい情報で安全な登山を】
登山前には万が一に備え、噴火情報や風向き等、正確な情報を把握しましょう。詳しくは、市ホームページ（http://www.city.ebino.lg.jp/）や宮崎県のホームページ（http://www.pref.miyazaki.lg.jp/）を確認してください。



硫黄山から半径約1kmは立入禁止です



県道1号は当分の間通行止めです

● 入山規制に関すること

● 閩市総務課防災対策係

☎ 35-1111（内線313）

市観光商工課観光係

☎ 35-1111（内線331）

● 県道に関すること

● 閩宮崎県道路保課

☎ 0985-26-7128

● 登山道に関すること

● 閩宮崎県自然環境課

☎ 0985-44-2624

コカ・コーラウエストえびの工場が経済産業大臣賞を受賞 工場緑化への取り組み等が評価



コカ・コーラウエスト株式会社えびの工場

市の指定企業「コカ・コーラウエスト株式会社えびの工場」が平成26年度緑化優良工場等経済産業大臣賞を受賞しました。同工場は、製造や物流の拠点だけでなく、約3万3000㎡の花畑や約4000坪の芝生広場が併設しており、工場緑化に努めています。

花畑では、加久藤小中学生によるひまわりの植栽などが行われ、四季を通じていろいろな花を見ることができ、また、芝生広場では、青少年育成のためのサッカー大会などが定期的に行われています。工場全体では、えびの京町温泉マラソン大会やさわやかフェスタ、秋季観光祭などが、地域協働で行われています。今回、これらの取り組み等が全国の工場のモデルになると高い評価を得て受賞となりました。



左から村岡市長、淵脇大介さん、田中晃さん

初めです。緑化優良工場等経済産業大臣賞は、工場立地法の精神を踏まえ、工場緑化を積極的に推進し、工場内外の環境向上に顕著な功績のあった工場等を表彰します。本年度は、全国で6工場が受賞しました。表彰は、11月4日、東京都で開催された工場緑化推進全国大会で行われました。表彰を受け、11月11日、同社の田中晃副社長と同工場の淵脇大介工場長ら3人が市長を訪問。受賞の報告を行いました。

CIVIC NEWS

市政ニュース

利用しやすくなった道の駅えびの 路線バスの利用が可能に

10月1日から「道の駅えびの」で宮崎交通株式会社の路線バスが利用できるようになりました。

これは、公共交通機関の利用促進と、多くの人に「道の駅えびの」を利用してもらうことを目的に、市が宮崎交通株式会社へ要望し、実現したものです。

「道の駅えびの」には、京町方面から8便、小林方面から8便の計16便が1日に乗り入れます。乗り入れ時間は、「道の駅えびの」の営業時間内です。

※道の駅えびのが定休日の場合は停車しません。

※この路線バスは、えびの市と小林市を結ぶ重要な公共交通機関のため、えびの市、小林市、国および県は、協同して宮崎交通株式会社へ運行費の補助を行っています。

☎ 市企画課政策係
35-1111 (内線332)



道の駅えびのに設置されたバス停

福祉バスに観光写真をラッピング 市内外でえびのをPR

市では、10月20日、老朽化していた福祉バスを、市内の風景写真をラッピングした福祉バスに更新しました。

ラッピングを施した福祉バスが市内外を走行することで、えびの市のPRを行います。

ラッピングバスの導入は、えびの市では初の試みです。

今回更新した福祉バスは、43人乗りです。導入費用は、ラッピング費用を含め163万5千円です。

ラッピングは、バスの側面と後部に施しています。ラッピングに使用した写真は、えびの高原の四季やJR真幸駅など13枚です。写真は、地域おこし協力隊員が撮影しました。市のマスコットキャラクター「みなほ」もラッピングされています。

この福祉バスは、市内の高齢者クラブをはじめ、各種団体の学習や研修等で利用できます。

☎ 市長寿介護課高齢者係
35-1111 (内線253)



福祉バスは市内外でえびのをPRします

えびの市住宅取得促進支援金交付事業 市内での新築等を支援

市では、定住を促進することで人口減少を抑制するとともに、地域経済の活性化を図るため、自己の居住を目的に住宅を初めて新築または新規購入する場合にその経費の一部を2回に分けて交付する「住宅取得促進支援金交付事業」を実施しています。

支援金額、交付要件、交付対象者は、左表のとおりです。

【申請方法】
対象住宅を取得した日から1年以内に必要書類等をそろえて、初回申請を行ってください。

交付申請書の様式等は、市財産管理課窓口で配布するほか、市ホームページ (<http://www.city.ebino.lg.jp>) からダウンロードできます。

●その他、交付方法・交付申請の時期および添付書類等の詳細は、市財産管理課住宅係まで問い合わせください。

☎ 市財産管理課住宅係
35-1111
(内線343・344)

●住宅取得支援金額

支援金額	限度額	交付要件
住宅取得費の10%	50万円	市内業者を利用した場合
	30万円	市外業者を利用した場合

※住宅取得費に土地代は含まれません。

●加算額

支援金の種類	支援金額	限度額	交付要件
移住加算金	30万円	1世帯 30万円	平成26年4月1日以降に移住してきた者
住宅取得者子育て加算金	1人×10万円	20万円	中学生以下の被扶養者1人につき加算

●交付対象者

- ①平成26年4月1日以降に住宅を新築または購入し、引き続き5年以上本市に居住する意志がある者
- ②市内に他の住宅を有しない者
- ③2人以上の家族で世帯を構成する者
- ④居住地の自治会に加入した者
- ⑤市税等の滞納がない者
- ⑥火災、事故または公共工事に係る保険金または補償金等による住宅取得者ではないこと

行政サービスの向上のために 市民目線で事業を評価

市では、行政組織内部での事業に市民目線での評価を加え検討する事務事業の外部評価を10月18日、市役所で実施しました。評価員は、公募で選ばれた市民や大学教授など6人です。

この外部評価は、「効率的・効果的な市民サービスの推進」「市民へ説明する責任の確保」を目的としています。

外部評価では、評価員が事前に抽出した市の自主防災組織育成強化事業など6事業が評価されました。

今回の外部評価の結果は、今後、事務事業の改革・改善に役立てていきます。評価結果については、市ホームページで閲覧できます。

評価されました。

スポーツ観光推進協議会補助金事業は、「拡充が必要」の評価が出されました。評価員からは、「旅館業者、商工会などが提携してサービス(おもてなし)の向上を徹底すべき」などの意見が出されました。

○事務事業外部評価一覧

事業名	判定区分	担当課
農業振興対策費	現行どおり	畜産農政課
公有林整備費	見直しが必要	農林整備課
スポーツ観光推進協議会補助金事業	拡充が必要	観光商工課
市民提案型自主文化事業	現行どおり	社会教育課
シルバー人材センター事業費補助金事業	見直しが必要	長寿介護課
自主防災組織育成強化事業	現行どおり	総務課

結果については、市ホームページで閲覧できます

☎ 市企画課政策係 35-1111 (内線322)



ま・ち・の・わ・だ・い



介護予防講演会

介護予防の大切さを学ぶ

10月29日、市文化センターで介護予防講演会が行われ、約120人の市民が参加しました。講師には、作業療法士の安本勝博さんが招かれました。これは、地域での介護予防の取り組みに役立ててもらおうと、市の主催で行われたものです。安本さんは、「介護予防から始まる地域づくり」の演題で、介護予防の大切さを分かりやすく説明。地域での介護予防の重要性について話しました。



ノルディックウォーキング体験会

杖を使ったウォーキングを体験

11月1日、えびの市民体育館とその周辺で「ノルディックウォーキング体験会」が行われました。これは、2本の杖を持って歩くノルディックウォーキングを多くの人に知ってもらおうと、市スポーツ観光推進協議会の主催で行われたものです。市内外からの参加者約15人は、館内で基本的な歩き方を教わった後、体育館周辺をウォーキング。ノルディックウォーキングの楽しさを体験しました。

10月18日、19日、グリーンパークえびのを会場に秋季えびの観光祭が行われました。観光祭には、市内外から約8000人が来場しました。会場は、600万本のコスモスがちようど見ごろ。来場者は、熱

気球搭乗体験やカメラ体験、フリーマーケットなどを楽しんでいました。気球搭乗を体験した鹿児島県出水市の平澤夏野さん（小1）は「最初は怖かったけど、乗ってみると気持ちよかったです」と話していました。

秋季えびの観光祭

秋のえびのを満喫



10月17日、(社)えびの市シルバー人材センターの会員73人が永山運動公園、八幡丘公園、美化センター付近、真幸園の草払いとせんだのボランティアを行いました。このボランティアは、毎年10月



シルバー人材センターの日に合わせて

熟練の技でボランティア

の「全国一斉シルバー人材センター普及啓発月間」に合わせて行われたものです。会員の福永博栄さんは、「きれいになった施設を利用者に気持ちよく使ってもらいたい」と話していました。



ウナギの稚魚放流体験

河川環境保全の意識を高める

10月9日、長江川永山橋上流河川敷で「ウナギの稚魚の放流体験」が行われました。これは、川に親しみを持ち、美しい川を守るという意識を高めてもらおうと、川内川上流漁業協同組合の主催で行われたものです。体験には、加久藤小学校の4年生35人が参加。河川敷の清掃後、ウナギの稚魚約100匹を放流しました。境田謙信さんは、「この川をずっと守っていききたいです」と話していました。



交通安全・地域安全・暴力追放西諸大会

安全で住みよいまちづくり

10月15日、小林市文化会館大ホールで、「平成26年交通安全・地域安全・暴力追放西諸大会」が行われました。大会には、西諸地域の住民など約800人が参加しました。これは、西諸地域2市1町と各防犯協会などが協働して西諸地域を交通事故や犯罪のない安全で住みよいまちにしようというものです。大会では、高齢者を狙った悪質な詐欺などを未然に防ぐ講話や交通安全指導員による寸劇などが行われました。



外装師 奥原 勁士郎 さん

県内唯一の外装師

「刀にも個性があります。その個性にあったサヤ、柄、ツバを考え、作るのが、とても楽しいです」と話すのは、外装師の奥原勁士郎さん（五日市）です。

外装師は、日本刀のサヤ、柄、ツバの修復やデザインしたサヤ、柄、ツバを刀身に取り付け、日本刀を作ります。奥原さんは、五日市にある『サムライ工房』で父親と二人三脚で日本刀の外装の修復・製作に日々汗を流しています。工房での作業は、全て、お客さんの発注で行っています。宮崎県内で活躍している外装師は、奥原さん親子だけです。

日本刀の外装は、地域によって作り方が違いますが、製作に苦慮するそうです。「お客さんの要望どおりに作ることは本当に難しく、製作の前には、綿密な打ち合わせを行います」それでも要望に合わないときがあります。「中途半端なものには渡したくありません。最高の一品ができるまで作り直しをしています。納品の時に、お客さんに喜んでもらえた時は、本当にうれしいです」

刀に向き合う父の姿に憧れて

奥原さんが、外装師になろうと思ったきっかけは、幼いころから見てきた父の姿でした。「刀に向き合う父のまなざしは、本当にかっ

こよく、憧れていました。自分も父のようになりたいと思い、高校卒業後、すぐに父に弟子入りをしました」

外装師の世界に飛び込んだ奥原さんは、外装師の技術の一つひとつで覚えていきます。「技術はもちろんなのですが、刀の外装をデザインするには、歴史の背景、作られた年代を考える必要があります。日本の歴史、刀の歴史も学んでいます」

数ある外装の中でも、奥原さんが最も得意とするのは、柄巻きだそうです。「柄巻きは、



日本刀の魅力を伝えたい

正絹や革でできた柄糸とよばれるひもを柄に巻く作業です。きれいに柄糸が巻かれた柄は、見ているだけで心が弾みます」

伝統工芸の世界でも、後継者不足が深刻な問題です。師であり、父でもある雄二さんは、「後継者ができてうれしいです。技術の習得にはとても長い時間がかかります。どんなにいい作品ができて、そこで満足せず、常に最高の作品を目指して成長してほしいです」と弟子の成長を見守ります。

修行の成果を試したい

奥原さんは、親子二代で築いてきた技術を携え、11月に行われる日本美術刀剣保存協会主催の外装技術コンクールの柄前の部に出品します。「このコンクールに出品するのは、4年間修行してきた自分の実力がどのくらいの位置にあるかを知るためです。師から教わったすべてを出し切りたいです」

今後の夢を奥原さんは、「外装師は、あまり知られていません。もっと修行を積み、外装の素晴らしさと日本刀の魅力をえびの市から発信していきたいです」と話します。



Profile
おくはら・きょうしろう
／原田／22歳／趣味：
サッカー、フットサル



うまかまん

今月紹介するのは、プロバスクラブの皆さんが作った「酢豚」です。酢豚は、さつぱりとした酢の酸味と豚肉のうま味が口の中で絶妙に広がる一品です。コクのある甘酸っぱさが食欲をかきたてます。乾しシイタケを入れることで、乾しシイタケのダシがコクのある甘酸っぱさを引き立てます。

料理のポイントは、野菜の食感を残すため、野菜を大きめに切ることです。野菜が小さいと、調味料の味で野菜本来の味が消されてしまいます。また、野菜は揚げると縮んでしまいます。切った野菜が小さすぎると食感を損ねてしまいます。



コクのある甘酸っぱさが食欲をかきたてる一品

今月の一品 酢豚

Recipe レシピ

【材料】(6人分)

豚肩ロース300g、タマネギ1個、ピーマン1個、赤パプリカ1個、乾しシイタケ6枚、ニンジン 1/2本、片栗粉適宜、揚げ油適宜 A:しょうゆ大さじ1/2、酒小さじ1、塩少々、こしょう少々 B:トマトケチャップ大さじ5、酢大さじ4、砂糖大さじ3、酒大さじ3、濃口しょうゆ小さじ2、塩少々

【作り方】

- ①豚肩ロースはひと口大に切り、Aを加えてもみ込み、下味をつける。
- ②タマネギ、ピーマン、赤パプリカ、ニンジンを切る。シイタケは水で戻し、切る。
- ③①に片栗粉をまぶし、170℃に熱した油で揚げる。
- ④②を170℃に熱した油でサッと油通しする。
- ⑤フライパンにBの調味料を入れて、ひと煮立ちさせ、③、④を加え混ぜる。水溶き片栗粉を加える。



【紹介者】プロバスクラブの皆さん

目指せ！世界ジオパーク認定



環霧島会議とは、霧島山を取り巻く鹿児島・宮崎両県の5市2町で構成され、県境を越えて連携し地域活性化を図ります。

環霧情報



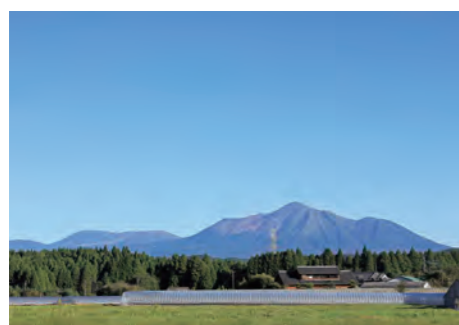
環霧島探訪

6月号から「霧島七景」と題し、環霧島圏域の「霧島山絶景ポイント」などをリレー形式で紹介していきます。今月は、曾於市です。

線対称に見える高千穂峰

「私の自宅付近から見る霧島連山が絶景ですね」と話すのは県道2号線沿いにある直売所「きたん市場」理事長の松ノ下幸人さん(59歳)です。

松ノ下さんの自宅付近からは、霧島連山(二子石、高千穂峰、御鉢、中岳、新燃



松ノ下さん宅付近から見える霧島連山



松ノ下幸人さん

岳、韓国岳、大浪池)が一望できます。「ここからは、高千穂峰が線対称に見え、美しいですね」

特に、松ノ下さんの好きな季節は初夏だそうです。「山肌の赤褐色と新緑が織りなすコントラストは見ていると気持ち穏やかになります」と目を細めます。

松ノ下さんは、幼少期からこの場所で霧島連山を眺め、その変化を見続けてきました。「今も昔も変わらず美しい景色です。しかし、昔に比べ景色がすすんで見える時があり、少し残念です」

「いつも何気なくこの場所から霧島連山を眺めて癒やされています。絵に描いたような霧島は、我が町の自慢ですね」と今も変わらず美しい高千穂峰を誇らしく話します。

家庭教育学級通信

飯野中学校家庭教育学級は、昨年度から飯野小学校の家庭教育学級と連携し、学級活動を共同で開催しています。

今年度は、5月に親子体験活動「いちご摘み」、7月に親子で参加できる「ヨガ教室」を共同で開催しました。11月には、「アート作品作り」、12月には「そば打ち」などを行う予定です。

小・中学校両方に子どもがいる保護者からは、「子どもを留守番させなくてすむので参加しやすい」という話を聞きます。

小・中学校の先生に毎回参加

してもらうことで、学校の枠を越えて相談することができます。活動の場は、先生と保護者が互いにわかり合うことのできる良い機会となっています。

家庭教育学級の体験活動は、家庭での親子の会話を増やすなど有意義なものになっています。保護者にとっては、子どもの成長にあらためて気付く良い機会となっています。

これからも、学級生の皆さんに喜んでもらえる学級活動を工夫していきたいと思ひます。

文:飯野中家庭教育学級 藤本 敦さん



5月に行われた親子体験活動「いちご摘み」



7月に行われた親子で参加できる「ヨガ教室」

スクールゾーンの通行許可



京町地区の国道268号北側の真幸小学校と真幸中学校に通じる道路は、午前7時30分から午前8時20分までスクールゾーン（歩行者専用道路）です。この時間帯は、自転車以外の車両は通行できません。

スクールゾーン内に住居、勤務先があるなど特別な事情で規制時間帯に通行する場合は、警察署の許可が必要です。警察署で、通行禁止場所通行許可の申請をしてください。申請には、免許証、自動車検査賞、印鑑が必要です。

スクールゾーンは、児童・生徒の安全確保と地域の平穏を確保するためのものです。車両で通行する場合は、申請をお願いします。

10月の交通事故発生状況	人身	7件	本年累計	81件
	物件	27件	本年累計	277件

風邪などの予防の徹底を



空気が乾燥するこの季節は、風邪やインフルエンザを引き起こすウイルスが空気中に長時間、漂い続けやすい時期です。風邪やインフルエンザにかからないためにも、予防の徹底をお願いします。

空気中に漂い続けるウイルスを防ぐには、加湿器などを使い、室内の湿度を40～60%の間に保つことが効果的です。

外出から戻った際は、手洗い・うがいをしっかりしてください。水分補給は喉や鼻の粘膜を潤して、ウイルスの侵入を防ぐと同時に、侵入したウイルスをタンや鼻水によって体外に排出する作用を助けます。小まめな水分補給もしましょう。

10月の活動状況 [えびの消防署管内]	火災	0件	年計	6件
	救急	61件	年計	707件

地域おこし活動

地域おこし協力隊の活動紹介



「Ebino Colors えびの魅力発見！」写真展

写真を活用してえびの市をPR

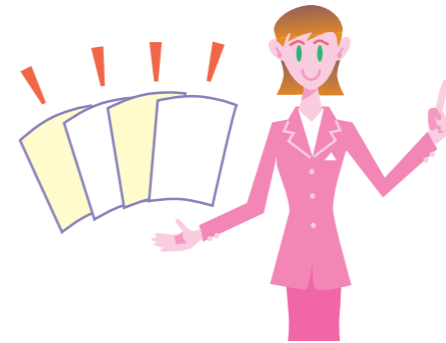
私は、1年2か月前にえびの市にやってきました。えびの市には、田んぼをはじめとする魅力的な自然の風景がたくさんあります。市民でも気づかないえびの市の美しい風景を撮影し、広く紹介するのが私の主な業務です。隊員としてえびの市で撮影を始めてから、撮影した写真の枚数は4万枚近くになりました。撮った写真は、Facebookで紹介しています。

昨年12月には、多くの人がえびの市の写真を見ることができ、利用してもらったための専用サイト「Ebino Colors」を開設しました。「Ebino Colors」に掲載している写真は、無料で利用できます。気軽に活用ください。また、旅行代理店や広告代理店などには、撮影した写真を提供し、えびの市をPRしています。

社バスには、私が撮影した写真がラッピングされています。写真の選定やラッピング専門業者とのデザイン調整などを行いました。今年の9月6日から約2か月間、えびの高原エコミュージアムセンターで「Ebino Colors えびの魅力発見！」写真展を開催しました。今後撮影活動をつうじて、えびの市の新たな魅力を発見し、ひとりでも多くの、えびのファンを増やせるよう頑張ります。

文：廣澤順也隊員

くらしのメモ



知っていますか。クーリング・オフ

「クーリング・オフ」とは、契約した後、頭を冷やして、冷静に考え直す時間を消費者に与え、一定期間内であれば無条件で契約を解除することができる特別な制度のことをいいます。一度契約が成立するとその契約に拘束され、お互いに契約を守るのが契約の原則ですが、この原則に例外を設けたのが「クーリング・オフ」制度です。クーリング・オフの通知は必ず

書面で行います。はがきなどの書面に以下の項目を記入して、控えるために書面の両面をコピーに取った上で、「特定記録郵便」または「簡易書留」などの記録が残る方法で送ってください。クレジット契約をしている場合は、クレジット会社と販売会社へ同時に通知します。はがきのコピーと郵便局の受領証は、5年間大切に保管してください。

【記載事項】契約年月日、商品名、契約金額、会社名、担当者など。クーリング・オフはすべてに有効ではありません。3000円未満の現金取引や通販販売など解約できないものもあります。クーリング・オフの通知の書き方など詳細は、宮崎県消費生活センターか市民環境課生活環境係まで問い合わせください。 〆 0986・24・0999 〆 市民環境課生活環境係 〆 35・1111(内線286) 文：市民環境課生活環境係

いきいき!健康



子どもを不慮の事故から守りましょう

近年、乳幼児の死亡原因で注目されているのが、「不慮の事故」です。不慮の事故は、日常生活の中で多発し、その半数以上が家庭内で起こっています。例えば、「コンセントにおもちゃ等を差し込み感電した」「歯ブラシを口にくわえたまま転倒し、口の中に傷を負った」「親が数秒間目を離したすきに、浴槽で溺れた」等、乳幼児は好奇心が強く想像もつかないよう

な遊び方や道具の使い方をします。また、「頭が大きいためバランスを失って転びやすい」「視野が狭く空間を把握する力が足りない」「じっとしているのが苦手」等の特徴もあります。家庭内で子どもを遊ばせる時には、注意が必要です。市では、乳幼児健診時にアンケートを実施しています。アンケートでは、「子どもが1人で開けることができないように浴室の

ドアに工夫をしている」「階段のある家で転落防止用の柵を取り付けている」「ストーブやヒーターを安全柵で囲っている」等の安全対策をしている家庭の割合が低いという結果が出ています。子どもの周りの環境を子どもの目線で見直すことが、事故の予防につながります。家庭の中をもう一度点検してみてください。親や家族が注意するだけでなく、社会全体で子どもを事故から守る意識を持ちましょう。 文：中尾保健師

BOOKS

おすすめの1冊



かんたん家事の知恵袋

鈴木 哲 / 発行人
(講談社)

この本には、キッチン、洗濯、掃除、片づけ・収納など、暮らしに役立つ生活の知恵が写真などでわかりやすく紹介されています。普段何気んやっている家事の中で、「こんな方法もあったんだ」と、新たな家事の方法を発見できる一冊です。この本を参考に、家庭にあるさまざまなアイテムを活用して、家事にかかる時間、お金、手間を節約してみませんか。



耳の聞こえない私が4カ国語しゃべれる理由

金 修琳 / 著
(ポプラ社)

金 修琳(キム・スーリン)は、韓国ソウルの普通の家庭に生まれました。2歳の時に両親が離婚。4歳で親に捨てられ、6歳になるころには聴覚を失ってしまいます。そんな彼女が、今では、4か国語を話すことができ、一流企業に勤めています。愛娘の育児にも奮闘しています。この本には、金さんが4か国語を話せるようになった理由が書かれています。

【最近入ったおすすめ本】

- 「フォルトゥナの瞳」 百田尚樹 著 新潮社
- 「一人っ子同盟」 重松清 著 新潮社
- 「マッサン上」 羽原大介 著 NHK出版
- 「税金の知識平成26年度版」 中央経済社
- 「はじめて育てる茶花の図鑑」 世界文化社

えびの市民図書館

☎35-0242 <http://www.e-tosho.com/ebino/index.html>

■開館時間 ■ 火曜日～土曜日 / 午前9時～午後7時 日曜日・祝日 / 午前9時～午後5時
■休館日 ■ 毎週月曜日(祝日法に定める休日と重なった場合はその翌日)

◎イベント

クリスマスおはなし会

- とき=12月20日(土)
- 時間=10:30～11:30
- 内容=おはなし会にサンタさんがやってきます。プレゼントもあります。

手作り講座「門松作り」

- とき=12月27日(土)
- 時間=13:30～15:00
- 定員=20人
- 参加費=無料

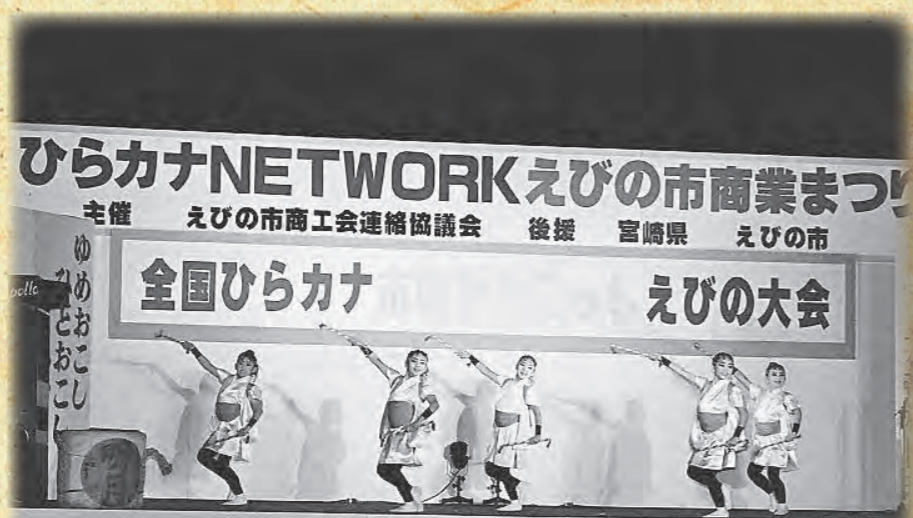
◎12月のスケジュール

月間行事	年末年始休館日(12月28日～1月4日)		
1 月	休館日		
3 水	移動図書館車巡回②	13:20～15:05	
5 金	移動図書館車巡回③	13:20～15:35	
6 土	おはなし会	10:30～11:30	
7 日	映写会	10:30～	
8 月	休館日		
9 火	ブックスタート(1歳児に絵本配布)		
10 土	移動図書館車巡回①	14:10～15:35	
13 土	おはなし会	10:30～11:30	
15 月	休館日		
17 水	休館日(館内整理日)		
	移動図書館車巡回②	13:20～15:05	
19 金	移動図書館車巡回③	13:20～15:35	
	喫茶ふら〜っと	9:45～11:00	
	パンの販売(菜の花堂)	10:00～11:00	
20 土	クリスマスおはなし会	10:30～11:30	
22 月	休館日		
27 土	おはなし会	10:30～11:30	
	手作り講座『門松づくり』	13:30～15:00	

※おはなし会:乳幼児10:30～11:00、4歳以上11:00～11:30

※移動図書館巡回

- ①飯野駅前地区体育館→飯野出張所
- ②岡元小学校→市立病院→さくら苑
- ③飯野地区公民館→警察署官舎→老人福祉センター



矢岳高原の秋を満喫

10月24日、矢岳高原で「矢岳高原観光祭」が行われました。祭では、体力作り歩行大会やスケッチ大会などが行われました。市内外からの参加者約500人は、自然豊かな矢岳高原を満喫しました。(平成5年10月号掲載)



田の神さあ音楽祭

10月30日、市文化センターで「田の神さあ音楽祭」が行われました。祭では、市内の音楽団や音楽愛好家など200人が演奏を披露しました。訪れた市民約500人は、生の演奏を堪能しました。(平成5年10月号掲載)

「ひらカナ」のまちが田んぼに集合
11月6日、7日、湯田橋北側のじよいふるたんぼ会場で「全国ひらカナネットワークえびの市商業まつり」と「全国ひらカナ市町村サミットえびの大会」が行われました。会場には、市内外から約3000人が訪れました。
会場では、演芸大会、花火大会などが行われました。(平成5年10月号掲載)



このコーナーは、これまでの広報紙の記事を一部抜粋、修正して掲載しています

心の一首一句

あなたもつくってみませんか。

短歌

遅植えのへちまは秋に成りはじめ
吾は笑みつつ指折り数ゆ 京町 小野スミ

暦の上では立冬となり、やがて小雪「寒さのために雨が雪になる時期」となる。近年は気象の変化が目まぐるしく変わる。自家菜園で好物のへちまが成りはじめたのを愛しむように数えておられる。作者の植物に対する感謝の気持と自身の喜がよく表れた素直な詠である。
(評:竹下妙子)

俳句

紅葉の客足にぶる規制かな

白鳥 松山夢真
硫黄山の異変による立ち入り規制、六観音御池の紅葉が見れず残念。(自註)

詩

移ろい

町 石井高子

お空の筋雲かくれんぼ
代わりに出て来た鱗雲
お空がちよっぴり高くなって
ヒヤヒヤ涼しい秋の風
稲穂は重くと悲鳴を上げて
支えきれずに頭を垂れる
樹々の葉っぱはそれぞれに
思い思いの彩るまとい
この世の別れに化粧する
準じて空はなお高く
空気が清く澄み渡り
凍てつく季節にバトンを渡す

宮崎県障がい者スポーツ大会 出場者募集

宮崎県障害者スポーツ協会では、第14回宮崎県障がい者スポーツ大会を開催します。ぜひ、参加ください。

【開催日】平成27年5月10日(日)
【場所】宮崎県総合運動公園ほか

【申込方法】市福祉事務所福祉係に電話で申し込む。

【募集締切】平成27年1月20日(火)

【開催競技】[身体の一部] 陸上競技、水泳、卓球、アーチェリー、フライングディスク

[知的の一部] 陸上競技、水泳、卓球、フライングディスク、ボウリング

[精神の一部] バレーボール、ミニバレーボール、グラウンド・ゴルフ

申・閩市福祉事務所福祉係

☎35-1111 (内線266)



農地の借り手になりませんか 農地の借受希望者を募集

農地中間管理機構では、高齢農家等から農地を借り受けて、その農地を集積・集約化して意欲的な農家に貸し出す取り組みを行っています。3回目の農地借受希望者の募集を12月10日から行います。

機構から農地を借り受けたい人は、機構が行う借受希望者の募集に応募し、借受希望者として登録される必要があります。応募しないと、機構から農地を借り受けることはできません。

【募集期間】12月10日(水)～1月8日(木)

【募集区域】市内全域または市内の区域

【募集対象者】

①「人・農地プラン」に掲載の地域の中心経営体 ②認定農業者 ③認定就農者 ④集落営農法人 ⑤農業生産法人など

【応募方法】借受希望申込書を市畜産農政課担い手対策係に提出してください。

※借受希望申込書は、宮崎県農業振興公社ホームページ

(<http://www.mnk.or.jp/>) でダウンロードできます。市畜産農政課担い手対策係にも置いてあります。

【応募時の確認事項】

①借受希望の農用地等の所在地域、種別、面積、農用地の条件 ②作付けしようとする作物の種別 ③借り受けを希望する期間 ④借り受けを希望する理由(規模の拡大、経営農地の集約化、新規参入等) ⑤現在の農業経営状況(作目ごとの栽培面積等)

【借受希望者の公表】借受希望者として登録された人は、宮崎県農業振興公社ホームページで公表されます。

【公表の内容】

①氏名または名称 ②借り受けを希望した地区内の農業者、地区外の農業者、新規参入者の別 ③借り受けを希望する農用地等の種類、面積 ④借り受けた農用地等に作付けしようとする作物の種別

※機構に農地を貸したい人は、市畜産農政課担い手対策係で随時、受け付けています。

申・閩市畜産農政課担い手対策係

☎35-1111 (内線233・234)

「わけもんの主張」発表者募集

市選挙管理委員会では、平成27年1月8日に小林市で開催される「わけもんの主張」西諸県大会の発表者を(1～2人程度)募集します。

【応募資格】原則として、昭和60年4月2日から平成9年4月1日までに生まれた市内在住者または出身者。

【テーマ】演題は自由です。「有権者として感じた政治・選挙について」、「未来の有権者として願う政治・選挙について」、日ごろ考えていることを自由にお書きください(400字詰め原稿用紙3～4枚程度)。

【応募先】えびの市選挙管理委員会事務局

〒889-4292 えびの市大字栗下1292番地

【応募締切】12月22日(月)

【その他】応募多数の場合は、審査のうえ発表者を決定します。審査結果は12月26日(金)までに本人に通知します。上位入賞者は、平成27年1月31日(土)に宮崎市で開催される県大会で西諸県支会代表として発表します。

申・閩市選挙管理委員会事務局

☎35-1111 (内線421)

メールアドレス: senkan@city.ebino.lg.jp

えびの市生涯学習講座 「パソコン教室」参加者募集

■第6回パソコン初級講座

スイッチの入れ方、パソコンの終わり方、マウスの動かし方、キーボード入力、ファイル操作、インターネット検索などを学習します。

【対象】市内在住で、各会場の講座に参加できる人。



会場	期日
飯野地区コミュニティセンター	1月9日、16日、19日、26日
市文化センター	1月6日、13日、20日、27日
真幸地区コミュニティセンター	1月7日、14日、21日、28日

【時間】午後1時30分～午後3時30分

■第5回パソコン中級講座

パソコンで、ハガキ文章、DVD、新聞の作成を学習します。

【対象】市内在住で、パソコンの基本操作ができる人。

内容	会場	期日
ハガキ文章作成	飯野地区コミュニティセンター	1月16日(金)
	市文化センター	1月13日(火)
	真幸地区コミュニティセンター	1月14日(水)
DVD作成	飯野地区コミュニティセンター	1月19日(月)
	市文化センター	1月20日(火)
	真幸地区コミュニティセンター	1月21日(水)
新聞作成	飯野地区コミュニティセンター	1月26日(月)
	市文化センター	1月27日(火)
	真幸地区コミュニティセンター	1月28日(水)

【時間】午前10時～正午

■共通事項

【定員】1会場4人

【参加費】無料

【申込方法】市社会教育課に電話で申し込みください。

【申込期限】

講座	締切期日
パソコン初級講座	12月22日(月)
パソコン中級講座(ハガキ文章作成)	1月5日(月)
パソコン中級講座(DVD作成)	1月13日(火)
パソコン中級講座(新聞作成)	1月19日(月)

■パソコン相談

パソコンの使い方について、相談に応じます。パソコン持ち込みでの相談も対応します。

※パソコンの故障・修理の対応はできません。

【対象】市内在住者で、パソコンの操作や設定で困っている人。

会場	期日	時間
市文化センター	12月1日(月)～12月25日(木) ※土日・祝日を除く	午前10時～午後4時

【申込方法】相談期間内に事前に電話で申し込みください。

閩市社会教育課社会教育係(文化センター内)

☎35-2268

12月4日から10日は人権週間

法務省では、毎年12月4日から10日までの1週間を「人権週間」としています。法務省および全国人権擁護委員連合会では、期間中、重点目標を「みんなで築こう人権の世紀～考えよう相手の気持ち育てよう思いやりの心～」と設定し、人権思想の普及のための啓発活動を展開しています。

○こんなときは人権擁護委員に相談を

人権が侵害された、侵害されるおそれがあるとき、いじめ、体罰、金銭の貸し借り、そのほか家庭内の問題などで困っている人は、近くの人権擁護委員または宮崎地方法務局都城支局、全国共通人権相談ダイヤルへ気軽に相談ください。相談は無料です。秘密は固く守られます。

○宮崎地方法務局都城支局

電話での相談を受け付けています。

【相談日】土日・祝日・年末年始を除く月曜日から金曜日

【時間】午前9時～午後4時

○人権相談所(人権行政相談所)

【相談日】毎月第1水曜日

【時間】午前10時～午後3時

【場所】市役所本庁2階(2-1会議室)

【えびの市人権相談日】

12月3日、1月7日、2月4日、3月4日

閩宮崎地方法務局都城支局

☎0986-22-0490

閩全国共通人権相談ダイヤル

☎0570-003-110

閩市総務課人権啓発室

☎35-1111 (内線350)

12月21日は宮崎県知事選挙

12月21日(日)は宮崎県知事選挙の投票日です。投票所入場券(ハガキ式)は、1人につき1枚届きます。投票所へは投票所入場券を持参ください。

【投票日】12月21日(日)

【場所】入場券で指定された投票所

【投票時間】午前7時～午後6時

■期日前投票

投票日当日不在等で投票できない人は、期日前投票ができます。

【期間】12月5日(金)～12月20日(土)

※土・日曜も期日前投票ができます。

【時間】午前8時30分～午後8時

【場所】市役所本庁1階1-1会議室(北側ATM横)

申・閩市選挙管理委員会事務局

☎35-1111(内線422)

利用ください 悩みごと無料相談会

成年後見ネットワーク西諸では、「悩みごと無料相談会」を開催します。

身寄りがなく、財産管理や福祉サービスなど「どのようにしたらよいか分からない」、「障害のある家族の将来が心配」、「悪徳商法や借金で悩んでいる」などの悩みに司法書士、社会福祉士、地域包括支援センター職員などが直接相談に応じます。ぜひ、利用ください。

【日時】12月3日(水)午後2時30分～午後5時30分

【場所】小林市文化会館

【費用】無料

【申込方法】事前に予約が必要です。小林市福祉課に電話

で申し込みください。

【その他】相談の際に話した情報が漏れることは一切ありません。

申・閩小林市福祉課

☎23-0111

ご利用ください。高齢者交流プラザ



平成26年4月13日に飯野地区コミュニティセンター横にオープンした高齢者交流プラザは、高齢者の健康増進や交流の場として利用できる施設です。娯楽講座室、カラオケルーム、運動トレーニング室などがあります。会議や研修、仲間との会話を楽しむ場として、気軽に利用ください。

【開館時間】午前9時～午後5時

【休館日】土日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

【利用料】無料

【対象者】60歳以上の市内在住者

※利用する場合は、事前予約が必要です。

閩市長寿介護課高齢者係

☎35-1111(内線253)

閩高齢者交流プラザ

☎33-0984

公募委員候補者を募集

市では、市で設置する審議会等の公募委員となる候補者をあらかじめ募集し、候補者名簿を作成しています。

候補者は、申し込み後2年間名簿に登録されます。市での審議会等の委員を選考するときに連絡をします。

これまでの経験や知識を市政に役立ててみたい、委員として会議に参加して自分の意見を述べてみたいという人は、ぜひ、申し込みください。

【参考】平成27年10月ごろまでに委員の選考が行われる予定の審議会

分野	審議会名	任期	所管課
企画	自治推進委員会	2年	企画課
保健衛生	国民健康保険運営協議会	2年	健康保険課
保健衛生	介護保険運営協議会	3年	長寿介護課
その他	ぶらんど21市民団体活動助成金審査委員会	2年	市民協働課

【応募要件】①委員に応募しようとする日現在で18歳以上の人 ②市内に在住、在勤または在学をしている人 ③本市の市政運営等に積極的な参画を希望する人

【申込方法】専用の申込書に必要事項を記入のうえ、市財政課行政経営係か申込書のある窓口へ直接提出してください。郵送、電子メールでも受け付けます。

申込書は、本庁(1階 市民環境課、3階 財政課)、飯野・真幸出張所、市民図書館に置いてあります。市ホームページ(<http://www.city.ebino.lg.jp/>)からもダウンロードできます。

申し込みの際は、希望する審議会をあらかじめ指定することはできません。希望する分野(登録区分)を指定してください。(複数指定可)

【分野】総務・財政・企画・福祉・保健衛生・観光商工・建設・産業・教育・その他

【申込期限】期限はありません。随時、申し込みできます。

申・閩市財政課行政経営係

☎35-1111(内線383)

メールアドレス: zaisei@city.ebino.lg.jp

参加しませんか。6次産業相談会

西諸県農業改良普及センターでは、6次産業化相談会を行っています。

6次産業化について知りたい農林漁業者や農業法人などは、ぜひ、参加ください。

【相談日】毎月第1水曜日

【時間】午前10時～午後3時

【場所】西諸県農業改良普及センター

【対象】農林漁業者や農業法人など

【申込方法】相談は予約制です。希望する人は、事前に電話で申し込みください。

申・閩西諸県農業改良普及センター

☎23-5105

見学できます 大相撲「武蔵川部屋」合宿

大相撲「武蔵川部屋」が、九州場所終了後に、えびの市で合宿を行います。相撲場での稽古は、どなたでも自由に見学することができます。力士の力強い稽古の様子を、ぜひ、ご覧ください。

【合宿期間】12月1日(月)～5日(金)

【稽古時間】午前8時～午前10時

※稽古時間は、変更になる場合があります。

【場所】市相撲場(飯野地区コミュニティセンター隣)

閩市社会教育課市民体育係

☎35-2268



◎今月の表紙

11月8日から11月16日まで歴史民俗資料館で行われている「社団えびの」写真展。

今月の納税

国民健康保険税 第5期

後期高齢者医療保険料 第5期

12月1日(金)までに納めましょう。

人口 20,092人(-2人)

男性 / 9,413人(+2人) 女性 / 10,679人(-4人)

転入 / 38人 転出 / 31人

出生 / 10人 死亡 / 19人

世帯数 8,957世帯(+6世帯)

(平成26年11月1日現在)

日本刀の外装を作っている、奥原さんの取材に行ってきました。日本刀を手に取り、作業をする奥原さんの目は、真剣そのもの。話を聞く中で見せる奥原さんの笑顔もとてもすてきでした。(平松)

Editor's



写真:硫黄山 (撮影:平成26年5月24日)

「硫黄山」

霧島山で最も若い火山です。火口周辺警報が発表され、火口から約1 kmの範囲は入山規制となっています。

朝の冷気に冬の訪れを感じます。10月24日、気象庁は、えびの高原(硫黄山)に火口周辺警報を発表しました。火山性地震や火山性微動が観測されるなど、火山活動が活発になってきているため、硫黄山を中心とするおおむね1 kmへの立ち入りが規制されています。硫黄山は、霧島山で最も若い火山です。最近の研究によると16〜17世紀の噴火で形成され、1768年の噴火の際には、山体の脇の小火口から水蒸気噴火が発生したと言われています。小高い丘のように見える硫黄山では、溶岩が段々畑のように重なっている「溶岩じわ」などの地形を観察できます。山体は、火山ガスの影響により白く変質した岩石に覆われ、ミヤマキリシマやスキが生育しています。

硫黄山では、明治33年ころから昭和36年まで硫黄の採掘がおこなわれていました。かつては活発な噴気や温泉の湧出などが見られましたが、近年はほとんど見られなくなっています。

(文/えびのエコミュージアムセンター)

硫黄山

標高 1317 m、韓国岳の北西に位置する火山。火口内には、煙道など硫黄鉱山の跡が残されている。
 参考文献：霧島火山、えびの高原周辺における最近 15,000 年間の活動史 (田島靖久、松尾雄一、庄司達也、小林哲夫 2014)